

サイコロ

ISHIKAWA MERIYASU MAGAZINE

Special Feature

“ 息を揃えて効率良く働く ”

—— 石川メリヤス用語集 ——



Column

私と石川メリヤス

News

クリエイターズショップ・ループ2026に出店しています

息を揃えて効率良く働くために 石川メリヤス用語をご紹介します

「アラコラにするときはカニさんになりやすいから注意してね」。
石川メリヤスの現場では今日もこんな言葉が飛び交っています。
社員が同じ方向を見て、朗らかに効率良く働くために必要な社内用語。
その一部をご紹介します。

め-おち【目落ち】〔検品用語〕

生地不良の1つ。編んである糸のループが外れて穴ができている状態。放っておくと、伝線してほつれが大きくなってしまいますので、本体と同じ糸を使って編み直す。



ひろ-う【拾う】〔編立用語〕

機械から編み落ちてきた半製品を検品しながら揃えること。1ダースで紐に結び、大袋に入れる一連の作業を指す。



ほずく〔方言〕

ほどく、の意。写真の生産工程シールにある「抜き糸ほずき」とは、ニット製品同士を便宜的につないでいる糸(抜き糸)をほどいて分ける内職工程を指す。



むし-くい【虫食い】

〔検品用語／独自用語〕

これも生地不良の1つ。2つ以上のループを針が同時にかんで編んでしまっている状態。



ダース【打】〔略字〕

「打」と書いてダースと読む。軍手業界ではダースを単位とすることが多い。製品は1ダース(12双)で紐でまとめて大袋に入れるのが基本。指図書などには「打」と略字で書かれることもある。対して、「Z」はデカ(「10」のこと)を示し、靴下業界でよく使う単位。



しん-みしん【新ミシン】| 道具名

〔石川メリヤス独自用語〕

扁平縫ミシン。Tシャツやトレーナーの袖口の縫製によく使われる。石川メリヤスでは靴下の履き口のほつれ止めに使用。オーバーロックミシン、スクイ縫いミシンに次いで3番目に導入したので「新」ミシンと呼んで定着した。



番外編

石川メリヤス内でも「一部の人が使わない三河弁だけだと聞けばわかる」と「ダジャレみたいな用語をどんどん作る検品・出荷部門の人がわからない」言葉があります。右記はごく一部です。

- ・そそくる〔方言〕
ほつれを直すこと。使用例「この手袋の穴、そそくつといて」
- ・グロ〔方言〕
隅っこ、の意味。使用例「この荷物、グロに寄せといて」
- ・ざわわ〔検品用語〕
生地不良の1つ。編み目がバラついていてザワザワしている状態。
- ・ロングラン〔検品用語〕
製品に大きなキズが付いている状態。
- ・ムンクの叫び〔検品用語〕
手袋の指のサイドが中に入った状態。指先がつぶれている場合は「タコハちゃん」。

アラコラ〔独自用語〕

互い違い、の意。手袋や靴下をまとめる際、指先の向きをアラコラにすると重ねた形と厚みが均等になって良い。



カニさん〔検品用語／独自用語〕

手袋をアラコラ(交互)に重ねて出荷する際に指が外に出ている状態。写真手前がカニさん。このまま袋に入れると「骨折(指が折れ曲がる)」しやすい。



かざ-ぐるま【風車】

〔出荷用語／独自用語〕

作業用手袋をダンボールに梱包する際、縦横に入れている状態。一方向では入らないときに使う手法。



私と 石川メリヤス

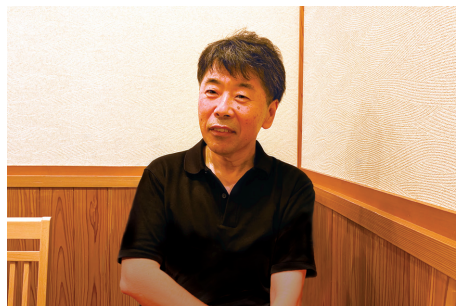
1962年設立(創業は1957年)の石川メリヤスは2022年に設立60周年を迎えました。長くお世話になってきた方にお話を伺うシリーズの第9回は、繊維原料商社「大東産業」の営業部長である藤田幸宏さんに登場していただきます。藤田さんが前任から譲りうけた言葉とは？

県内の短大を卒業してから大東産業に就職しました。ちょうど就職氷河期が始まった頃です。大東産業の面接では「土方みたいな仕事だよ」と説明されたことを覚えています。土木作業員と繊維原料商社マンのどのへんが似ているのかは今でもわかりません。

私は入社してから一貫して繊維関係の企画・生産・販売に携わってきました。石川メリヤスさんとはアラミド繊維のリサイクルで関わらせてもらっています。アラミドは丈夫なだけに編み機の針が折れやすく、「何が起こるかかわからない」繊維です。そのリサイクルの流れを自社で構築している手袋屋は他にはないと思っています。私の中では御社は常に気になる会社です。

5年前に亡くなった前任者の田中道弘さんは入社した頃から尊敬していました。会社帰りにお酒を飲みたい田中さんを20年以上も毎日車で送り迎えしていましたが、私にとっては最高の勉強タイムでしたね。

私たち商社は工場などの設備を持っていません。何もない会社だからこそ、「仲間を大切にしないさ」が田中さんの最大の教えました。御社とは信用ではなく信頼関係があると思っています。「信じて頼って」いるのです。今日のように意見交換をしながら、未永く一緒にやっていきましょう。



「車の運転が好きだから」とお酒を飲まない藤田さん。食べることは大好きです。

News

クリエイターズショップ・ループ 2026 に出店しています

名古屋市によるクリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」の通年出店枠に石川メリヤスが選ばれました。デザイン性を高めて何度でも洗って使っていただける作業用手袋「三河軍手」や履くだけでカカト保湿機能がある極暖靴下「ラブヒール」(さらっとした肌触りの夏用もあり)など、暮らしを少し豊かにするニット小物をお届けします。季節ごとに商品を入れ替えていく予定です。ぜひお立ち寄りください。



2026年6月19日(金)ー2027年3月25日(木)

名古屋市中区栄3丁目18-1 ナディアパーク・クレアーレ1F
OPEN 11:00ー20:00 無休(クレアーレ休業日、ほか入替日を除く)

<https://loop.idcn.jp>

Editorial Note

社内用語は、価値観や手順を共有して、仕事を速く正確に行うためにあります。その多くは社内の現場で自然発生的に生まれるものです。一部でも洗い出して改めて共有する機会になればと思い、今号の特集を企画しました。検品・出荷部門の用語が大半を占めているのは、他の部門と比べて集団で流れ作業をすることが多いからです。不良品防止と納期遵守の最後の砦として、細かいニュアンスを伝える言葉を自分たちで作り、笑い合いながらも責任感を持って仕事に取り組んでいます。社内用語は企業文化の現れであるならば、石川メリヤスは明るい社風なんだと嬉しく再認識しています。(大宮裕美)

トヨタ自動車より山本さんを短期研修 出向社員として受け入れ中です

18歳からトヨタ自動車の上郷工場に勤務している山本耕司さん。同社には社外の受け入れ先企業で働きながら学ぶ研修制度があり、山本さんは今年5月1日からの3か月間、石川メリヤスに出勤しています。トヨタという大組織でエンジン製造一筋25年以上の山本さんは、地域密着で小規模なニット小物製造の現場が新鮮なようです。例えば、石川メリヤスの外回り班は高齢な内職さんの体調も把握しながら自らもミシンを動かしてフォローしています。このような働き方は「今まで経験したことがなく、学びを得ました」とのこと。きさくで前向きな山本さんは各現場に良き風を入れていて、石川メリヤスにとっても学びの多い期間になりそうです。



車関係以外のモノづくりの現場で働くことを希望したという山本さん。3か月間、ニット小物にまみれています。

Credit

編集・執筆・撮影・発行 石川メリヤス有限会社
Art direction & Design 相田貴子(Consulting Design Tokyo)

2026年8月発行

冊子名『サイコロ』とは

「メーカーの基本は何よりも品質」。
初代社長の想いが込められた創業以来の作業用手袋「サイコロ印」のブランド名から名付けました。
本冊子では、この精神を守りつつ、石川メリヤスの「いま」をお伝えします。

商品問い合わせ&注文先

石川メリヤス有限会社

〒444-0515 愛知県西尾市吉良町富好新田紺屋堀 27-2
TEL 0563-32-0420 FAX 0563-32-3066
E-mail info@ishimeri.com URL <https://ishimeri.com>